

2012年5月18日

おおい町議会・議長
新谷 欣也 殿

おおい町住みよい町造りの会
おおい町本郷124 44
猿橋 巧
連絡先 0770-77-0546
原発問題住民運動福井県連絡会
代表委員 奥出春行、河内 猛
佐藤正雄、多田初江
原発住民運動 福井・嶺南センター
代表委員 河内 猛、坪田嘉奈弥、渡辺 孝
遊津喜由、上原修一、岩本敏行

関西電力大飯原発3、4号機の再稼働容認について強く抗議する

おおい町議会が14日、関西電力大飯原発3、4号機の再稼働を容認したことに
対して満身の怒りをこめて抗議する。「福島事故の知見の反映した安全性の確認と
安全性に上限を設けず継続的に追求する姿勢と原発の必要性をおおむね理解した」
とあるが、安全性をおおむね理解して再稼働で背負わされるリスクの甚大さは比較
にならない。そもそも福島原発事故の原因究明が、どこまでなされている認識なの
か？福島県議会、福島県知事が総意で福島県内全原発の廃炉の決議をあげた思いを
どう考えたら安全性を確認したと言えるのか。

全員協議会で安全面で不安は残るとしながらも地域経済や雇用への影響を考慮
してやむをえない決断というが4月の住民説明会では、全住民の1割にも満たない
参加率で住民の質問も打ち切り、住民から出された意見は、再稼働について慎重な
意見が相次いだ。わたしたちが、4月下旬から5月上旬におおい町で行った訪問行
動でおおい町民と対話し約3百人の聞き取りをまとめ7日に全議員へ渡した中で
も「現状での再稼働は拙速すぎる。安全が心配」との声が半数を超えていた。今回
の決議は、およそ住民の意見が反映されているとは言えない。

とうていおおい町民のいのちと健康を守り、安心して住み続けられるおおい町を
子ども達に残すことにはつながらないと思われる。

わたしたちは、今後もおおい町に住む住民と連帯していのちと健康を守り、安心
して住み続けられるおおい町を子ども達に残すため安全を第一に住民運動を進め
継続しておおい町議会に対して働きかけていく。